

## 令和元年度学校関係者評価を通して

順正高等看護福祉専門学校

校長 中角 祐治

令和元年度の自己点検自己評価報告書を取りまとめ、この度、3名の学校関係者の方々に本校の取り組みについて、「よかった取り組み」、「すぐに改善すべき取り組み」、「近いうちに改善すべき取り組み」に分けて評価をいただきました。

その結果、大筋では本校の教育姿勢を高く評価していただくことが出来ました。本校の学生と教職員がひとつの目標に向かって、努力と研鑽を重ねていることにご理解を得られました。

深く感謝を申し上げますとともに、私たち教職員が教育活動への更なる探求心を持ち、新たな挑戦を続けることを決意したところでございます。

さて、最も徹底して取り組むべき課題としては、看護学科、介護福祉学科ともに国家試験への合格率の向上であることは、言うまでもありません。従前より承知している課題とは言え、改めて評価委員の皆様からのご指摘を戴き、現状打開のための行動をとる考えであります。

国家試験対策プロジェクトを有効に機能するために、最重要の教育行動とします。模擬試験を徹底的に繰り返して行うこと、学生がつまづいているところを具体的に抽出して、出来るまで学生に寄り添うことが肝要と考えています。

また、学生の学習意欲を持続させるためには、個々の学生への個別の対応も重要ですが、授業の進め方の工夫や、学習環境の整備にも配慮した学校経営が必要であると感じております。

今年度末には、自己評価、関係者評価、第三者評価の三段階で構成する評価体制を完成させることになっています。この度、学校関係者の方々からのご示唆が全ての始まりとなりますので、教職員が一丸となり、建学の理念である、学生の能力を最大限に引き出し引き伸ばすことに注力して参ります。